

議会報告会 会場報告書

担当班：1班 班代表者：木戸貞一

概要			
地区名：西紀中地区 日時：平成28年11月17日(木) 19:30～21:17 場所：げんき・げんきハウス 参加人数：15人(男15人・女0人)	【出席議員】 木戸貞一 隅田雅春 大上和則 國里修久 渡辺拓道 恒田正美	(1) 開会あいさつ：木戸貞一 (2) 議会報告：國里修久 (3) 質疑応答：下記参照 (4) 意見・提言等：下記参照 (5) 閉会あいさつ：渡辺拓道	挨拶・総括：木戸貞一 司会進行：大上和則 報告：國里修久 受付・記録：隅田雅春 渡辺拓道 会場(マイク)：恒田正美

【主な質疑】

質疑・意見	回答
・政務活動費を充当した各種事業等の効果を説明されたい。また、政務活動費の用途について、各会派により支出状況が異なっているが、どのような理由によるのか。	・政務活動費を充当した研修や調査に基づき一般質問を行うこともありますが、その繋がりや見えにくい状況です。政務活動費と一般質問等との関係性を可視化していく取り組みの必要性を指摘いただいたと認識しています。政務活動費の用途については、支給先である各会派の裁量に委ねられており、調査・研修に活動の重心を置く会派や、広報広聴に活動の重心を置く会派など様々です。なお、政務活動費が充当されていないことをもって、その活動を全く行っていないと断定はできないことをご理解いただきたいと思います。(全額自己負担によって活動する場合があります。)
・議員定数について、丹波市議会においては、人口6.5万人に対し議員20名である一方で、篠山市議会においては、人口4.2万人に対し議員18名である。丹波市と比べた場合、人口規模に対して議員定数が大きいのではないか。	・これまでの議論では、現行定数は適正な数と考えていますが、ご意見として承ります。

質疑・意見	回答
<ul style="list-style-type: none"> ・篠山市再生計画に基づき、議員の期末手当を10%削減されたが、職務の対価である報酬は、正規の額を受け取っていただくべきであると考ええる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の期末手当の削減は、再生計画に位置づけされるものではなく、議会の自主的な取り組みであるのご理解いただきたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通再編（案）について、西紀中地区では、有償ボランティア輸送サービスをまちづくり協議会において実施している中、本地区の有償ボランティア輸送の取り組みについても再編（案）の対象となっているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通再編（案）において、西紀中地区や大芋地区における輸送サービスに係る取り組みは、他地区に広げていくべきものとして位置づけされています。
<ul style="list-style-type: none"> ・市バス利用に係る利用要件の内容は。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主な要件としては、市主催事業、共催・後援事業や学校事業等です。
<ul style="list-style-type: none"> ・篠山市企業誘致及び雇用促進に関する条例の一部を改正されたが、企業誘致は大変な困難を伴うと考えられる。企業誘致以外の篠山市に相応しい施策の方向性を考える必要があるのではないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・改正は、企業の東京一極集中を廃し、本社機能の地方移転を誘導するものです。また、市においては、地元企業振興の施策についても講じられています。
<ul style="list-style-type: none"> ・イノベーションラボと地域ラボの具体的な展開はどうなるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・イノベーションラボは、起業家育成を目的としており、地域ラボは、イノベーションラボで学ばれた起業家の卵といえる方の実践の場として位置づけされていると考えます。
<ul style="list-style-type: none"> ・島根県邑南町におけるシングルマザーを対象とした移住定住に係る施策を参考とし、篠山市独自の施策に取り組む必要がある。産業高校の丹南校跡地に介護福祉士育成施設ができることから、シングルマザーの移住と介護福祉士の育成を組み合わせる施策として1本化すればおもしろいのではないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人ウエルライフによる介護福祉士養成施設は、ベトナムの方を主な対象と考えられています。定住施策との連携については、執行部に繋ぐとともに、意見として承ります。

質疑・意見	回答
<p>・篠山市清掃センターについて、新聞報道等で騒がれているが、問題の所在や今後の展開について教えていただきたい。</p>	<p>・両市間における問題の所在は、清掃センターに係る負担金割合です。丹波市は、負担率が高いと主張している一方で、篠山市としては平成39年まで安定的に運営していく必要があることから、負担金の見直しについては慎重にならざるを得ず、議論が平行線となっているのが現状です。今後の展開としては、丹波市からの申し入れに対して、篠山市としては「篠山市清掃センター検討委員会」を立ち上げ、有識者や市民の意見を得ながら、対応していくこととしています。</p>
<p>・五坊谷池の水位の低下により、池底が露出し、かなりの臭気を放っている。前回の議会報告会においても、お伝えしたが対策の進捗状況等はどうか。</p>	<p>・前回意見をいただいてから、調査が実施されており、腐葉が臭気の原因であると確認しています。対策は、予算との兼ね合いもあることから、課題として認識し、執行部にお繋ぎします。</p>

